

報道関係者各位

国立大学法人東京大学

## 記者会見「市民後見人養成プログラム」発表のご案内

9年間静かにしていた成年後見制度が、今回発表する125時間のプログラムで新たな胎動を始めます。ご多忙とは存じますが、下記要領にて開催する記者会見に何卒ご出席賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1. 発表日時：2009年2月3日（火）14：00～14：45
2. 発表場所：東京大学医学部総合中央館333号室（医学図書館3階）  
（別添地図参照）
3. タイトル：成年後見制度を目覚めさせる「市民後見人養成プログラム」  
いよいよスタート
4. 発表者：東京大学大学院医学系研究科 教授 甲斐一郎  
筑波大学ビジネス科学研究科 法曹専攻長 新井 誠
5. 発表概要：市民後見人養成プログラムの概要と第一期基礎講座の内容
6. 発表内容：

東京大学（大学院医学系研究科：甲斐一郎）と筑波大学（法科大学院：新井誠）は、文部科学省「社会人の学び直し」委託事業として、後見実務に詳しい職能団体や関連諸機関の協力のもと、市民後見人養成プログラムの原型を開発しました。

プログラムは、座学・インターンシップ・自主活動・ワークショップなどで構成され、総時間数125時間を、およそ9カ月間を要して学ぶ内容になっています。委託事業期間（2年間）に本プログラムを標準化し、全国の大学で実施されるよう訴求します。

受講者として、退職シニアを中心とする意欲ある一般の方を想定しています。市民力を地域還元すること、もっと多くの方が安心して暮らせる地域づくりを目指します。

修了者には履修証明制度を通じ修了証を発行することを予定しています。

また、修了生が後見活動を実際に行えるよう各種支援を行う市民後見センター（仮）の設立についても関係各方面と具体的に協議したいと考えています。  
そして、市民後見という新しい社会分野の創造に挑みます。

#### 7. 「第一期生基礎講座」開催要領

- ・開催日：3月20日（金・春分の日）、21日（土）、22日（日）の3日間、合計15時間で開催
- ・会場：本郷キャンパス医学部2号館大講堂
- ・募集人数：200名（先着順） ・受講料：1500円（資料代として）
- ・応募方法：電話受付 03-5953-7010。Fax 受付 氏名・電話・住所を明記し 03-5953-8835 へ送付。受付後受講案内を送付します。

#### 8. 本件に関する問い合わせ先（報道関係者限定）：

東京大学・筑波大学「市民後見・福祉信託プロジェクト」事務局  
宮内 康二 Tel:080-3467-3974

<記者会見会場> 医学部総合中央館333号室（医学図書館3階）

東京大学医学部総合中央館 3 3 3 号室（医学図書館 3 階）（文京区本郷 7 - 3 - 1）

